

| | |
|------|---|
| 資料番号 | 1 |
|------|---|

令和2年12月4日
警察本部

令和2年広島県議会12月定例会提案見込事項

- 1 令和2年度12月補正予算（案）
- 2 業務委託契約の解除に伴う違約金等権利の放棄について

1 令和2年度12月補正予算（案）

現計予算額 63,382,004 千円
 今回補正額 △129,087 千円
 補正後の総額 63,252,917 千円

（単位：千円）

| 款・項・目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | | | 説明 |
|---------------|------------|----------|------------|-----------|----|-----|----------|--|
| | | | | 特定財源 | | | 一般財源 | |
| | | | | 国庫 支出金 | 県債 | その他 | | |
| (款)警察費 | | | | | | | | |
| (項)警察管理費 | | | | | | | | |
| (目)公安委員会 費 | 152,876 | △1,498 | 154,374 | 0 | 0 | 0 | △1,498 | 1. 公安委員会 運営費 △1,498 |
| (目)警察本部費 | 54,925,663 | △127,589 | 54,798,074 | 0 | 0 | 0 | △127,589 | 1. 給与改定に 伴う補正 △126,996 2. 運営費 △593 |
| 計 | 55,078,539 | △129,087 | 54,952,448 | 0 | 0 | 0 | △129,087 | |

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた事業見直し（フォローアップ）について

警察本部

1 概要

今後の更なる新型コロナウイルス感染症対策や経済の低迷などによる税収減への備えなど、様々な課題に時機を逃さず、迅速かつ適切に対応するため、全庁において令和2年5月に実施した事業見直しに係るフォローアップ（第2回）を実施した。

2 見直し結果（一般会計分）

新型コロナウイルス感染症緊急対応等の補正予算を含む全事業を対象とし、直近の社会経済情勢の変化や事業の進捗状況などを踏まえて、幅広く見直しを行った。

（単位：千円）

| 区 分 | 9月補正後予算額 | 【事業見直し分】 12月補正予算額 |
|------------------|---|-------------------------------|
| 一 般 事 業 | 63,092,454 (56,269,083) | ▲ 2,091 (▲ 2,091) |
| 新型コロナウイルス感染症緊急対応 | 208,617 [201,617] | ▲ 0 [▲ 0] |
| 一 般 会 計 計 | 63,301,071 (56,272,583) [201,617] | ▲ 2,091 (▲ 2,091) [▲ 0] |

※ 表中のカッコ書きは、（ ）は一般財源、〔 〕は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の額

《 参考：事業見直し累計額 》

（単位：千円）

| 区 分 | 5月補正（追加 分）予算額 | 9月補正 予算額 | 12月補正 予算額 | 累計額 |
|----------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|
| 一 般 事 業 | ▲ 170,749 (▲ 133,993) | ▲ 17,855 (▲ 11,458) | ▲ 2,091 (▲ 2,091) | ▲ 190,695 (▲ 147,542) |
| 新型コロナウイルス 感染症緊急対応 | — | ▲ 0 [▲ 0] | ▲ 0 [▲ 0] | ▲ 0 [▲ 0] |
| 一 般 会 計 計 | ▲ 170,749 (▲ 133,993) | ▲ 17,855 (▲ 11,458) [▲ 0] | ▲ 2,091 (▲ 2,091) [▲ 0] | ▲ 190,695 (▲ 147,542) [▲ 0] |

3 見直しの内容（一般事業のみ）

| 事業・業務名 | 内 容 | 【事業見直し分】 12月補正予算額 |
|-----------------------|-------------------|----------------------|
| 公安委員会運営費 | 16都道府県公安委員連絡会議の中止 | ▲ 1,498 (▲ 1,498) |
| 式典等業務委託, 嘱託員 等運営経費 | 年頭部隊視閲式の中止 | ▲ 593 (▲ 593) |

※ 表中のカッコ（ ）書きは，一般財源の額。

4 今後の対応

継続する事業・業務についても，新型コロナウイルス感染による影響や社会経済情勢を踏まえつつ，引き続き，必要な見直し等を図っていく。

2 業務委託契約の解除に伴う違約金等権利の放棄について

(1) 趣旨

広島中央警察署及び広島東警察署発注の産業廃棄物処分業務委託の受託業者（以下「債務者」という。）に対し、契約解除に伴う違約金等の請求を行っていたが、債務者に差押可能な財産が見当たらず、法人経営も破綻状態にあり、将来事業を再開する見込みがないまま、時効期間が経過したことにより今後徴収の見込みのない債権について、権利を放棄するもの（地方自治法第96条第1項第10号）。

(2) 債権の概要

ア 債権名等

| | |
|--------------------------|-----------|
| 業務委託契約の解除に伴う違約金等 (内訳) | 132,900 円 |
| ・ 業務委託の契約解除に伴う違約金 | 5,460 円 |
| ・ 業務委託の契約解除に伴う委託料の未履行分 | 30,576 円 |
| ・ 再撤去・処分業務委託に伴う損害賠償金 | 96,864 円 |

イ 債務者

リバース株式会社（世羅郡世羅町）

ウ 時効期間満了日

(ア) 令和元年9月24日（広島中央警察署）

(イ) 令和元年9月22日（広島東警察署）

(3) 債権の状況及び経緯

- 広島中央警察署及び広島東警察署（以下「署」という。）が債務者と平成21年度産業廃棄物処分業務委託契約したが、同社は大量の産業廃棄物を屋内外に放置したことから、事業許可の取消処分を受けた。
- 同社による撤去が見込まれないため、署は別事業者と産業廃棄物撤去・処分に係る契約を行い、撤去したことにより、同社との契約解除に伴う処分委託料の未履行相当分、契約解除による違約金及び未処理産業廃棄物の撤去・処分に要した費用（損害賠償金）を同社へ請求することとなった。
- その後、督促状の送付、資産状況の確認及び催告の実施等の債権回収に努めたが、時効期間が到来した。